

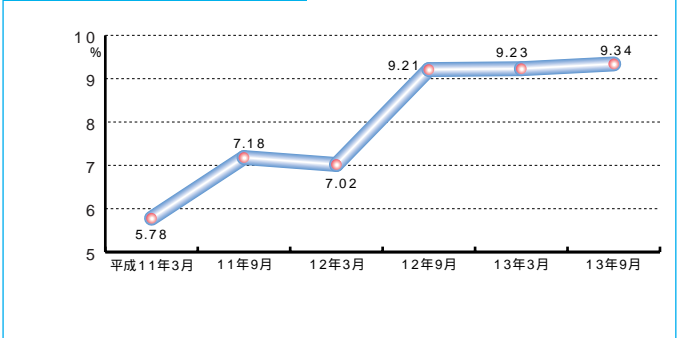
Q5. | 安心できる銀行は、どこを見ればわかりますか？

A. | 自己資本比率の水準です

銀行の経営が健全かどうかをみる重要な指標の一つとして、財務内容の健全性を示す自己資本比率があり、同比率が高いほど健全性は高いといえます。当行のように海外に店舗を持たない銀行は、その数値が4%以上(国内基準)であることが要求されています。

平成13年9月末の当行の自己資本比率は、13年3月末に比べ0.11%上昇し、9.34%となりました。

自己資本比率(単体)の推移



Q6. | 「格付け」について教えてください

A. | 「A - 」の格付けを取得

「格付け」とは企業などが発行する債券などの債務履行の確実性について、公正な第三者機関である格付機関が評価するもので、AAAからDまでの10段階の等級があります。

当行は日本格付研究所から格付けを取得しており、上位から3段階目となる「A - 」(シングルA マイナス)の良好な評価を得ています。

右表にその内容を載せておりますのでご参照ください。

格付けの定義

長期格付記号	定義
AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

AAからBまでに格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)もしくはマイナス(-)の符号による区分があります。

Q7. | 経営の合理化について教えてください

A. | 全役職員一丸となって取り組んでおります

経営の合理化は、当行の重要な経営課題の一つであり、全役職員一丸となって取り組んでおります。

平成13年9月末の行員数は、前年同期比174名減(削減率11.0%)の1,400名となりました。

経費面では、人件費は人員の削減に加え賞与支給額の削減等もあり、前年度比3億円削減の51億円となりました。物件費は、積極的な機械化投資に伴う経費増の影響で、前年比1億円増加しました。

今後を展望しますと、これからの金融業界の競争激化に備え、顧客利便性向上を目指したシステム関連の新規投資には積極的に取り組んでいかなければなりません。りゅうぎんは、こうした新規投資に対しては積極的に資金を投入していきますが、その他物件費の圧縮を図ることによって、全体としての物件費の抑制に努めてまいります。

経費の推移

